

# バストス週報

第百七十九号  
昭和廿八年  
九月六日  
発行

登録名義人  
KOKI MORI  
発行所  
RUA  
PRES. VARGAS  
No. 788  
BASTOS  
編輯發行人  
織田 勇  
C.F.112  
代  
誌  
一社 60  
外部 70

## バストスの養蚕と その将来



週日養蚕移民二百家族養蚕州人が許可  
れた事は本週報にも掲載した通りだがバ  
クリスタ養蚕協会長は、この養蚕に  
る談話がバクリスタ協会にこの養蚕に  
と中々容易ならぬ困難を突破して振興す  
た成果のようである。

マ此の七割までは日本より飛来せる片倉  
家の國産であった。そして工場側が期待  
した通り非常に成績がよかつた。  
第一に病気が少ない。虫が強靱である。  
糸がすばやくよい。その成り二〇%  
位よけい糸を食ふ。うす飼ひにして飽食  
せしめると既に谷口工場長が数回警告し  
た通り頗る健啖種であるが、よい餌を作っ  
てくれる。来年ももう充分取りよせて  
ある相だ。とすると、こうで不充分なも  
の（日本製に比して）を無理に製造しなくと  
え、このこととなり養蚕にバストス養蚕一取  
りする宿題を一々解決したことになるよ  
うである。原蚕飼育に對する設備費用特  
点、蚕種製造に對する設備費用特  
費、それらが平均養蚕一戸に幾らか、  
るが、養蚕に明かたに、養蚕組合工  
場の終戦当時賣却した次の價格は一戸二  
軒であつた。そして業者から満足されず  
自らも莫大な損失をして、組合の運営に  
も支障を来たす程の損害を蒙つたもので  
あつた。もし其の頃日本から優良蚕種が  
輸入出来れば、たゞ、何れもあんな死物  
同様の設備に金を投ずるのではなかつた  
と誰しもが言ふべきであらう。バストス  
では遠く之に、高品質の蚕種は、成功と  
は、法を以て、原蚕の飼育に對する設備  
を、原蚕を飼育して、改良すること  
は、養蚕の技術と、養蚕の改良すること  
は、養蚕の技術と、養蚕の改良すること  
は、養蚕の技術と、養蚕の改良すること

バストスの養蚕家乃至一職在住者も大  
きな関心を之に寄せ、早くも受け入れた  
いて同会が来る相であるが、養蚕技術  
移民を招いて一戸せんとするのではなく、養  
蚕に關する新技能を取り入れようとの純  
真にして真剣な要求であると聞くと之は  
真にその感と深くするのである。  
バストスはブラジル養蚕の發祥地では  
ないが、その振盪時代にブラジルの指導よ  
る、困難に打克つて今日の地盤を築上げた  
が、今日満前値を示して居るにも拘はら  
ず、戦時中の最盛時に遠く及ばないのは  
どういふわけであらうか。

バストスで最も大きく養蚕をやる人  
は、一回にどの位の掃をやるか、  
昔はフルワラの地田さんなどが大関であつ  
たが、今はナウアの北谷兵衛あたりが横綱と  
なり、一回の掃が四百斤から多い時は  
四五〇斤にのぼり、之を年七回繰り返して  
たら、どういふ事になるか、此の方面にも  
多額納税者が出来て面白い調査となるか  
も知れぬ。特異な情態が起りぬ限りバ  
ストス養蚕は益々その生産を高めてゆく  
であらう。（M人）

戦時中の調査ではバストスの桑園は二  
千アルケールに及んで居た。之は上田製  
糸場あり、産組の養蚕工場あり、シキア  
工場あり、バストスは養蚕一色に塗りの  
ぶされて居る時であつたが、今日目  
は大方草原となり、実際に水が引れてい  
る桑園はおよそ四百アルケールである。  
アルケールは一養蚕家につき桑園三、三  
アルケールに留まり、飼育量も多量とい  
思はれぬ。数年前一アルケールの桑園で百トラ  
マ飼へると仮算すると桑園荒廃衰退によ  
る収葉量は半分の五〇斤も六〇斤に  
こととなるからである。  
桑園に施肥せよと谷口工場長は常に指導  
して居るが、果して、この位の施肥が実行さ  
れて居るか、確かな所を聞き出して居るか  
充分な給肥によつて桑園が改良されるか  
否かはバストス養蚕界の将来の鍵とよ  
てよからう。

過去一農年度（一九五二年十月から本年七月迄）  
にブラジルのバストスの養蚕家に配給さ  
れた蚕種は百〇八キロ七百グラムであつ



開設當時をふりかへる

畑中仙次郎

昭和二年に東京海外移住組合聯合会が  
 結成せられ梅谷貞老さん其の事務理事  
 として事業地の大将格で来り込んで来り  
 したのであるが、何分にも初めてのも  
 であるので、多年サンパウロ州に於ける移  
 植民事業に経験のあるイカアツベ植民地  
 の創設者、青柳郁太郎さんが其の顧問相  
 談役として續いて来伯せられ専ら移住組  
 合聯合会の現地代行機関としての法人ア  
 ラジール植植組合の設立や、事業地の購入  
 又は総領事館や在伯邦人との接衝等に設  
 置せられたのであるが、有責任アラジ  
 ル植植組合 Sociedade Cultural de  
 Rio Branco & Cia. の設立に際しても中々  
 容易な事ではなく、梅谷さんは杉山英雄  
 氏を日本に同伴、海外移住組合聯合会の  
 組織と伯國法規とを照し合せて研究し研  
 究を重ね、漸く出来た成案を以て帰伯、  
 財団法人として正式に登録が出来たので  
 ある。日本に於ける名称は元より当地に  
 於てはアラジール植植組合といふ名称は随  
 分長い、特に三浦日伯氏は例の調子で  
 アラジールと押し詰めて仕舞った、當時は隨分  
 人を食った事のように感じ居たもの  
 であるが簡潔さ好みは善人の通有性と思  
 えて、遂には自他共に何人のこだわりもな  
 くアラジールと呼ぶようになった。  
 今日では寧ろアラジール植植組合と云ッ  
 ても判らぬ人が多しである。誠に妙な  
 ものである。斯くして發足するようにな  
 ったが、現業地の主任は何人がなるであ  
 ろうかと色々世評に上り取沙汰せられ  
 ました。移住地購入候補地調査の委嘱を受  
 けた関係もあつたので、最初の經營地バ  
 ストスへ初期にはアラジール移住地と稱して居  
 ましたが、後バストス移住地と改む。移住地主  
 任の交渉が梅谷専務からあつたが元來私  
 の渡伯の目的は植植事業に終生を捧ぐ  
 事であつたから欣然お受けしたものであ  
 る。扱てお受けはしたものの在伯十七年、  
 歳四十とはいへ、其の方面に於ける経験は  
 未だ充分とは申されず、又植植組合その  
 ものが新来のおや／＼と組織立ち上  
 居らず、サンパウロ事務所が如き或る  
 職氏が専務を助けて会計其他一切の任事  
 を一一人で切り廻し、稲葉政夫少年（今は  
 去職南米銀行事務員）を使い歩きに置  
 いて居る。此時代であるから現業地經營に  
 対する詳細なる事業計画案などある筈も  
 なく、唯だ日本から来る指令によつて案を  
 樹てる、例へば昭和四年には新植民者二  
 百家族が入植するから其の準備に業道編

なきを期せよと云ふ頼であつたの、現地  
 の仕事は如何様にして進む可きか、實際  
 のゆり盛りは現地主任の責任であつた。  
 従つて人事の如きも必要に応じて集めた  
 のであるが私としては其の当時畢竟の大  
 事業に携はるるのであるから、事業經營に  
 運ぶ訳に参らす特に人選に意を用いたの  
 かある

生長の家 巡回講話

生成の家地方講師アカマンチーナの  
 河野益彰先生が左記の日程で巡回講  
 話を開始されす  
 該反各任は勿論一般の方々も多数御  
 来場下さる様ですすめ申上げます

- 九月九日 ボンブア二區
- 九月十日 ナウ一區
- 九月十一日 アルト區 (各會館)
- 九月十二日 スロリア二區

中央の誌友はスロリア五へ拝聴  
 に行くことになつて居ります。

生長の家誌友バストス支部

柿セメンテ

カンホ六コペラソン 取扱ひ致します致  
 希望の方は至急御申込下さい。柿  
 セメンテ者方にて取扱ひ御世括します

バストス産業組合 梶花原 松崎へ

移住祭 宮坂鏡則君選

外孫がバラナから来て移住祭 狂月  
 生さのびて好々爺たり移住祭 越山  
 鳩舞ふて入植祭の記念塔 紀菊子

柘 葛 南天子

柘葛と計けはミジンに散りにけり 南天子  
 隣家より忍み来し葛も柘れにけり 柘木  
 椰子壁もくす水も葛も柘れはてて 春歩

小 春 きわ子

牧小春 牛の教み老たのし 東村  
 菊送けすす鶺鴒を肩に妻小春 古宮  
 伏せ能く鶏啼く小春市場かま



# バストスに 珈琲栽培を提唱す

折角珈琲をしても又霜にやられてはつ  
まりんと云ふ人もあるが、そんな事をい  
って居ては何事にも手は出さぬ。パラチ  
の霜は十一年振りだ相だが十年に一度は  
いかに降霜があるものとして同一人が  
十年に一度は被害を受けてゐるわけだ  
はない。現にバストスの珈琲(僅かなも  
のだが)は出る七月の霜にはやられな  
った、むしろ其の後の野火に焼けた所が  
ある。

播種の方はどうであらうか、四年迄は  
大したまはさないとしても五年以後の成樹  
で施肥したものでは二十本一俵といふが  
ラチ本単位で五〇俵、式百軒若くは十軒  
一アルケールに二千本植えるに二十ト  
大珈琲園の経営者から見ると小供の仕事  
でしかないが、私が提唱するのは  
労力のあまるとある家持乃至青年の四州運  
動への試練の程度で提唱してゐるのだが  
ラチ何十コントといふ収入ではあり得ない  
オジジエスカラナリ氏の  
珈琲の苗圃に於て実地指導によつて古  
土地に珈琲園を任立てる方法を採する。  
カンテイロ(苗床)の作りか  
長さは場所によつて異なるが幅は二米が理  
想的である。苗床には水切りをやって、  
苗床の間には通行出来る様五〇センチの  
小徑をつけ更に所々に三米の大道をつけ  
苗又は他の必需品の運搬路とする。  
全部の苗床に平等に灌水出来る様水利を  
設けておくことよろしい。

土地の準備  
土地をエンシヤド又はスコツブで良く耕  
し苗床一平方米に三次の肥料をする。  
堆肥五キロ乃至十キロ、骨粉二百グラム  
塩化加里 百グラム、智利硝石五グラム  
を混ぜる。之を均等に撒く。

播種  
農務局の配給種子は外皮を除去し薄い半透  
明の外皮に包まれテスホルパードと云ふ  
芽は外皮のまゝのコーコより早く移植  
にも都合がよい。播種間隔は種子と種子  
の間五センチ、列と列との間隔十五センチ  
條は苗床の長さに沿つて作る一平方米の  
苗床に百株三粒播種出来る。普通八〇分  
の茶芽率心あるから各自必要の本数を計  
算出来るであらう。

播種の時期  
播種は九月から十一月の雨期の初期とし  
移植  
四十日後で發芽し五ヶ月位たつと十センチ  
位の根の出る、翌年の四月か五月頃、移  
植をラミナ十の移植容器に移す。

# サンタ・テレジンニア 福龍裁縫女學校

校長 福龍 すすえ子  
普通科 六ヶ月 速成科 三ヶ月  
研究科 随意 料理講習(希望者)  
随時入学できます。  
寄宿舎完備 責任を以て御座り申します  
アベニニカ・パリスス  
幼稚園の上隣り

ラミナ十とは不製の薄板である、之を二  
時間程水につけ、適当の筒に作る、フラン  
ピアドリルで二箇所とめ、ホニ番のアラムで  
中央を一まきしておく。  
作業は根がまきれたら、四つたりせぬ様は  
急せぬがなうぬ、斯くて容器に移植した  
苗は、苗圃の日光直射せぬ所におき一ヶ  
月位してから珈琲園に定植する。  
此の方法はラミナ十の小型(長十八寸中十  
四寸)を用ふれば安くて便利。  
薄板の容器に堆肥又は森林のサラピレイ  
ラ(毛細根に富んだ森林の表土)と土を混  
せたるものを満ちして、おいて播種前四、五日  
灌水し、エがよと落ちつくようにする。播  
種時期は五月か六月が最適、一容器に二  
粒か三粒を播く、その上に薄く腐土を  
をかける。  
容器は束めて一の苗床の長さ即ち二米幅  
の某団を作り容器は出来る限り密着して  
をかぬかならぬ。  
十月から十二月の間に葉が二の出来た頃  
珈琲園に定植するのである。

苗圃(オケイロ)について  
カンテイロ(苗床)を保護する設備、苗圃  
は管理者の住居に近い所、灌水に便利な  
所、土壌のよい所がよろしい。  
日覆の爲にエーカーの丸柱を三米毎に建  
て、横に竹を入れた、竹を半分は割ったも  
のを竹の幅にならへて簾のようにして適当  
な影を作る、又雨にたかぬない様にす  
る、ていねいにする程よい苗が得られる。  
材料  
竹を用いた場合、園に比べた材料が、  
二十三種幅で四十一種の長さ薄板容器に  
入れ、苗一立方本を收容するに必要材料  
は、口徑凡そ十五釐長三米半のエーカー材の  
柱四十本、口徑凡十釐のエーカー材の梁  
百本五本、一竹百本(竹は二割に  
定植  
カミナールをやる場所へは予めコーバを  
掘つておく、定植は十月から始め、一月  
頃になり、雨天に行ふのがよろしい。  
(つづく)



# 友谷さんの美拳

去る八月十三日愛児パウロ君（ロンドン）で過失大火傷の爲め死亡した青年の葬式を営んだ友谷君が、香奠返しを禁止し、母國風水害の義捐金とし金を封を中央区第一組の取扱者に奇矯を依頼した由、時宜に適した美拳として関係者を感激させたといふことである。

## トレスバラス移住地

### 霜害だより

S君叔下  
呪はれた七月五日、と標題を書けば古い時代の新聞の見出しみたいになりませんが、たつた一晩の降霜でこんなにもやられるものかと今にして思ふ。  
「あなたいところもやられたでせう」なんて言へばピンタを張られる程険悪な顔々々でしたよ。私は折から丸不舟吟社の例会に出席のため朝早く所に着いた。兵馬さんへ「トレスバラスの田草川さん」が南米銀行のことで四五名と話してゐた。私の顔を見て「ジャンガ」が「区方面は、どうかと訊かれるので高い所でも一面真白い霜が降へた。兵馬さんはその場から佐藤氏の自動車で移住地内を一巡されて来た。「イヤもう怖ろしい霜だ」と一言のみ。  
「ホッ、山から出てくる俳友の話を総合すると十一年前の大霜以上の害らしい。鷲郎さんへ「元バストス居住山本軍治氏」が「操業支配人に尋ねてゐたが氷点（0）下八分だったとか」

### S君叔下

鷲郎さんのおで今年末年と完全に抹ぬんの五ヶ年俵ペルネだと云ふことでは、金に見積っていくらになるものか又、移住地全体でいくらだとかの算盤をけいく気にもならないか。トレスバラスは裏に服した你有存です。来年は大サフラだと昨日近景気の好い話ばかり聞いておたのみに。  
もつとも熱心に珈琲園経営をやつて居られる此君子老（山本軍治さん、昨年訪日された）は降霜時の対策を練つて居られたその実行をされたが否や訊ねて見ると「いやお話しにならん、焚火煙幕などこそ盡して見たが、例へば焚火しても、その焚火に一番近いコーヒ樹の焚火に面した側のみ防いで、その樹の裏はもう真白い霜でして」と、私はそれ以上お尋ね出来なかつた。

### S君叔下

この霜害のコーヒ樹をいかに再生させるか、今の最大の関心事です。或人は枝り松

ある。或人は誰かの経験を知り度いと思つて手もつけて居るが、農談会も同様に、果して何れの方法が適するか、珈琲に経験のない私には皆目判らぬ。たゞこの灰一色のトレスバラス移住地が緑のコーヒ地帯として一日も早く復活することを念ぶのみです。  
八月廿一日 沢村白葉生アサキにて

## 三ツツ・ホルダ

### 講習會 開催

期日 九月十日より向ふ二十日間  
席の都合があります故お早にお申込み下さい  
当校にて毎年催します恒例の

### 刺繍講習會

### ナ洛亀裁縫女學校

## 中央會が鷄卵部を バストス産組に返す？

バストス産組の鷄卵部が昨年いつの間にか組合の手を離れて現市中中央會の直営となり爾来月滑に經營され出荷者も五十数名に達したと云ふ。此の程中央會より、ほつ基礎も固くなつたであろうから、元の如くバストス産組に經營としたりどうかと通告して来た。出荷者は直ちに緊急會議を開き大體次の如き要求を發した由である。  
一 今迄中央會で取つた歩金一〇%を八%に引下げる事  
一 組合内債整理のつく追積立金をせぬ事  
一 法定積立金其他部内經費を差引き純利益金は出荷者に配当すること  
一 理事又は監事に於て養鷄部を利用して居ない者は移管と同時に出荷して貰ふこと。出荷不可能の事情ある人は辞職して貰ふ事  
一 養鷄部より理事二名選出のこと、内一名は現職員として採用すること  
一 等である。組合側では役員会を開き此後一週間につき協議をせよと云ふ由  
聞くとこの方によると養鷄部移管には賛否両論あり、内部的な自家勢力の拡張に伴ふ小競合もあるらしいが、将来更生バストス。注進力となり得る組合の立場から見ると充分慎重な行動をとられんことを望むものである。



# 野火の被害頻々

毎年の事だが七八月の乾燥期には煙草の吸殻から枯草に火がつき思ひもよらぬ大野火となつて鶏舎、養蚕小屋其他に延焼すること珍らしくない。

今年も各所にその被害を多くが八月の二日にはサウテウトリア前田甚吾氏所有の大養蚕小屋及住宅が折柄の烈風に火をまきアツと云ふ間に一となめにされてしまった。幸うである。同氏はそれが為めに養蚕歩合家族養果を中止してしまつた。幸にそこには人が住んでいなかった。建物だけの損害であつた。

ウニオ工区赤谷で福民の場合には隣り牧場方面から追越たので人が取囲を獲ひ千本程大切にしてゐたのをきれいに思がしてしまつたといふ。周囲は黒焦けになり中央も霜にやられたより尚みじめになつた由。赤谷老すつかりしよなる。小谷さんの鶏舎へ火のかゝつた様子。さくと實に物すごいものである。フルツラ区の入口からホンダへ行く道。即ち小谷さんのロッテの東寄りの草原から火が見えたので要心してゐると三日の烈風であるから思ひやい。百五十米位はなれた所にある再生林を飛び越して火の塊がビュ／＼吹きつけまくるの。手のつけようがなく、片ほしから鶏舎が炎上してしまつた。四〇米、三〇米、二〇米、一〇米。各一棟之に成鶏千五百が居たが半数は焼死残りの半分も手負ひで産卵が止つてしまふからその損害も百コントと下るまい。と言はれる。気の毒とも何とも云ひようのない災難である。小谷さんのパストには牛も次山放してあつたが幸ひその方の損害はなかつた相である。

## 何とか野火の対策は無きや

以上の外にもあちこちで野火の為めに小屋や其他の損傷を蒙るもの数多く毎年同様の不安と老朽を繰返してゐるのだが、何とか之が対策はないものであろうか。只自家の周囲のみをリンパしておいて、二五米以上離れたところから火がとんでくるといふから、風のよい日を見計つて、焼いておくに如くはないと思ふが、又組の共同作業でお互いの利益を守る為め、運動が起き実行が出来相に思はれるが、何か他に支障があつて実行困難なのがあるうが、いたがらに焼いては才不財、丹年可なり多額に上るに鑑み各位の御考を煩はしたい所である。

シツクの中方も市街地の方々も火の用心！  
炎帝はおそろしい！

# 御挨拶

去る八月廿三日午前九時頃、三キロ奥の力ホエラより發火、折柄の烈風に煽られ危険に類したる處、早速近区より大勢御馳付け下され消火に御盡力下さいました。が、何合の大野火とて手の施し様もなく養鶏場及倉庫四棟を灰燼に帰しました。が住宅及倉庫(飼料庫)は御陰を以て幸無きを御得ました。偏に皆々様の御盡力の賜もの、深く感謝いたします。幸ひ人畜に被害はありませんでした。

追而皆々様より御同情の御足音に接し且つ又御多忙中にも不拘、時と遷さず再建策に御協力下さつたので、日ならずして、二棟落成致しました事は到底筆舌に及ばぬ。唯々感激の外御座りませぬ。一々拝顔御礼申述べ可き筈の処、何合取立中其の意を得ず、取敢ず週報紙上を藉りて厚く御礼申上げます。

八月廿九日  
フルワラ区 小谷 俊 一  
フルワラ区 各位  
第一ウニオン区 各位  
第二ウニオン区 各位  
中央区 各位  
其他附近 各位

## 水戸工カニカニ

野菜運搬用などに最適。レズルマとして同もない車です。

## 灌溉用ガソリン・ホンバ

ホース五十米付。轉送の爲め至急賣却し度し。但し別々に賣却します。

南米銀行上隣

パール 西野



# 蚕祖神社参拝記 2

## 道路問題のゴタゴタ

SON子

中央からエスベランサ更生区道は大き  
 口程もあるうが、僅か区民八家狭といふ  
 のに区道も立派だし、両側のセルカも整  
 然としてゐるし、慶田さんの前を通過す  
 る時吃驚したことは一アルル位の前後に  
 レンガの山が積んであり何万枚とも見当  
 のつかぬ程の積りがあつた、誰かこ  
 こはオラリアですかと云つた程だつた  
 新鴉舎用の材料ときいて更にゴタゴタ先  
 した、蚕祖神社はそこからは二三口先  
 であつた、村に神社があるなどといふこ  
 とはいかに日本趣味で郷愁更に新らた  
 なるものがある、神社といつても境内に  
 森もなく建物も普通の校舎だから外観か  
 ら受ける感じは殺風景だ、六米に八米位  
 の廣い御堂で正面奥まつた祭壇には日本  
 の純拝殿型の模型(?)が飾られ御鏡が鎮  
 座まします相だその前に拜敷と不約合に  
 大きな御寶篋箱があつてある、  
 西見さんに請せられて堂内に入り設の  
 席についたが、正装した西見さんは頭が  
 半白の加減か神々しく見え人知らぬ人が  
 見たら神主(官主)さんと思ふにちがひない  
 森元区長さんが其時立上つて一場の挨拶  
 授けを受けた、道路問題は大変結構の中  
 世話を受けたが無事に解決を見たので心  
 ばかりの御神酒を差上げたい、此れ偏に  
 当村の鎮守蚕祖神の神徳のしからむる  
 延といふ意であつた

伯人アマカノ氏は西見さんのを納  
 れて従来の道路を尊重しアラメを道の兩  
 側に張ることを承諾した相だが、どうした  
 加減か実際はクルクルと張り廻り道を弄  
 り度い人は一々アラメを外レマ入する  
 より外さいまにしてしまつたので区民が  
 フンがいしたたのである、崎田さんに依頼  
 し和解を明待した処、崎田さんは隣接の  
 福同氏のワツテとアマカノ氏所有の一  
 ロツテを交換すれば、ランランア道へお  
 る又その里道は自然元のまゝ浮いてある  
 ので、兩人自動車で検分に出かけた、ここ  
 ろが途中森元氏のワツテにかゝると、お  
 手イヤが区道の行手を塞いでいたといふ  
 のがある、おルテイヤの存在あにフシハ  
 とりのみならず、おルテイヤの存在あにフシハ  
 ロツテ交換を断つたのでおじやんにフシハ  
 しまつた、真疑の程は知らず、これは今度  
 の一失であつた、皆あつて気がついて成  
 程これはいかんと早速あしむとから片つ  
 けてオニ段の作戦にうつつた、実際一々  
 アラメを外して馬車や自動車を通すのも

困るし、通学児童がバスの牛をこわが  
 り又女一人の通行も思はしくなく何とか  
 道路の両側にアラメを張つて貰ひたいと  
 今度市役所にリノ市長を訪ねて新へた  
 市長さんも簡単に考へ話せば判ると思  
 つて引受けたのであらうが、此の案も中  
 マ手取り早く進行しなかつた、ワツバン  
 の裁判所で調べたら、道路にはポルティ  
 ラとワツバブロー口を取つければよいこと  
 になつてゐると判り市長さんは、これは  
 事めんどうだと思つたか、裁判近して幸  
 ふのは頃だ、おひおした、市長さんとし  
 ては部内の紛争はなる可く示談の方がよ  
 いと思ふが示談だと相手の氣持次第だが  
 う時向的には早急解決を望まれないと  
 ころが日本人は氣が短かい、理窟の押そ  
 うとする、市長さんが氣を利うすと見る  
 と今度東は東トリオさんに民法の解釈を  
 測つてもらふと、や州や道路は大下玉  
 氣のものにして、とある、これ見ると  
 判るよ上は、此の話をきいて陰に陽に  
 判るよとけちかけた(合)人もあつたか  
 知れぬ、だん(合)と話は險悪になり判  
 示談ではすみ相もない事になつてしま  
 つたといふのである、  
 此の何キロ何キロのバスターも道の  
 両側にアラメを張るのも大変だが、アラ  
 タアア口をつけてすますであらう、ラン  
 シヤアア行く道中には、そういふ所が沢山  
 ある、が高々百メートルや二百メートル  
 の所なら道徳的に考へても、区民の要望  
 をお約束する位のワカラズ屋でもないので  
 情的に不つてしまつて、意地にも話をき  
 かうとはせぬようになりがちのものであ  
 る、新地では当地に居りぬのでついで痛痒  
 も自ら感ぜないまゝに二ヶ月三ヶ月と経

### 急告

今般母國風水害義捐金募集の爲め左記  
 演藝開催いたします故、何卒賑々しく御  
 来場下さいます様中願ひ申上います

阿波の鳴戸 一幕  
 暎の女(雲月娘浪曲入) 三幕  
 長劇 一幕

外に、新道歌子、舞踊 小人五針

入場料 大人十針 小人五針  
 会場 産業會館

明日来る九月十九、二十日 兩日午後六時  
 主催 バストス 劇團  
 後援 聯合日本入會



過してしまつた。

森元区長さんの挨拶があつて、それから祝宴である。神楽内はカギ形にメーカがあり十数人座つても餘裕の、ビールならぬお米が泡をふいてつがれる。何にしても無事に解決したとはいふ。うらやましい、更生遊園に、一同乾杯。その内に池戸さんが作られた鯉の洗馬を馬車に積んで、祝宴がたけなわとなつた頃、ついでに、祝宴がたけなわとなつた頃、市長さんご校長さんが子供さん三人つれて自動車でもつて来た。市長さん、局長さん、いよいよ挨拶を一所々つて、一同又乾杯。今こうして親しくオミキを食さず、皆の話、をきいて居ると、ケンカせず所期の目的を達してよかつたといふ氣持で、一いひである。裁判にでもなつて、ごらん、双方さ、いふと、ハタウたけで、その金は、大方辯護士たちのホルツを肥すだけ、落ちたであらう。裁判といふもの位複雑怪奇なものは世界の中にないといふ。更生遊園の人達、裁判なるといふやうに、おつたと思ふ。そんな費用の何十分の一か、オミキがたり腹の減ることはないか。

アマゾーネ氏の折合ひが、いよいよ、絶望と見え、大時、聖市から、K辯護士が他の案件で来植するから、ついでに、此の事件をも依頼するかと、いふ案が出来、市民大会を開き、八名の区民大会。満場一致、サイツの底を、ハタク、追抗争することになった。

このなる近には、自治会時代の石橋さん、も訪問した。小沢エスピーラン、区長を通じて、評議員会にも相談した。もう、このあるが、積極な後援は、しても、う、なかつた。結局、さん、は、速達して、いる。諸方さん、速達して、若し、物違氣親の方だから、海千山千の体、取者の考へる事を、手ぬるく、思ふといふ点、もある。

いよいよ、K辯護士に、一任するといふ、隣近来た時、裁判に、勝つて、道が、三ヶ所に、開くことになると、道路修理の時、困ると、いひ、出された人が、出て、又、一頓、坐した。最後に、縣日会長、谷口さん、を訪ねて、何と、か、い、智慧、はないか、と、相談、したが、谷口さん、も、会長、になつた、ばかり、で、十分の、放棄、がなく、アラ、橋ルートを、た、と、つて、崎田君、が、真、が、登場、すること、となる。

でも最後に、皆、オズワルトクルスに、押かけて、い、つ、て、アマゾーネ氏と、合見したの、は、よ、かつた、です。アマゾーネ氏も、日本人、道と、誤解、して、お、た、ら、しい、最後、には、よ、し、横濱、道路、だけ、は、す、く、開ける、誰、か、は、ホ、ル、テ、イ、ラ、に、する、と、確、信、し、よ、れ、から、向、も、なく、実行、した、とい、ふ、話、せ、は、判、り、い、な、い、こと、であ、つた、のが、と、ん、で、も、なく、横濱、に、を、れ、て、し、ま、つた、し、か、し、重、事、に、解決、した、のは、無、論、崎田、さん、の、功、績、に、も、よ、る、が、一、致、団、結、して、区、民、の、利益、を、守、り、ぬ、く、心、の、強、さ、が、実、を、結、ん、だ、と、い、へ、る。

出来れば、そのアマゾーネ氏も、こ、こ、へ、ま、ん、で、オ、ミ、キ、を、い、たい、か、せ、た、な、り、こ、ん、な、に、日、本、人、が、決、ぶ、こ、と、な、り、も、う、と、早、く、し、て、や、れ、ば、よ、か、つ、た、と、思、ふ、で、あ、ら、う。未、年、は、た、と、へ、八、家、族、で、も、こ、の、お、宮、で、一、大、祭、典、を、執、行、し、舞、台、を、か、け、て、大、歌、舞、伎、堂、居、を、やる、ん、だ、と、大、さ、う、氣、揚、が、上、つ、た、が、あ、れ、は、オ、ミ、キ、の、着、だ、な、か、と、云、は、な、い、様、一、筆、神、文、に、認、め、奉、納、せ、せ、て、お、く、ん、だ、つ、け。

日本人のみの移住地時代ではなくなり、日伯混血となり、何かつ、これに、美、す、る、や、こ、し、い、同、盟、が、起、り、が、ち、で、あ、る、が、一、番、の、元、火、元、の、お、さ、い、時、に、解決、す、る、こ、と、と、慮、つ、て、お、か、れ、る、誠、意、が、あ、れ、ば、禍、根、は、の、こ、り、方、が、少、い、で、あ、ら、う。

とり、あ、り、つ、て、お、啓、蒙、し、ま、せ、う、か、南、無、蚕、祖、大、明、神、祇、此、の、平和、郷、に、お、波、が、た、ち、ま、せ、ん、よ、う、に、お、資、錢、を、し、て、頭、に、奉、る、  
③

バスターズ劇團の美奈

母國の風水害に義捐金を送つて、上、述、の、バ、ス、ト、ス、劇、團、で、は、来、る、九、月、十、九、日、に、日、演、藝、大、会、を、開、き、そ、の、入、場、料、を、全、部、寄、附、す、る、こ、と、と、な、つ、た。これ、を、き、き、つ、た、え、た、の、ご、自、慢、お、ど、りの、連、中、わ、た、し、達、も、支、援、す、る、と、申、さ、で、た、の、で、之、を、打、つ、て、一、丸、と、な、し、聯合、日、本、人、会、後、援、で、別、稿、本、巻、の、如、く、大、々、的、に、演、出、す、る、こ、と、と、な、つ、た。芝、居、の、お、し、物、は、新、作、長、劇、一、幕、市、田、劇、団、の、母、長、谷、川、伴、作、股、分、物、三、幕、芝、居、は、雲、月、楼、の、浪、曲、入、り、と、い、ふ、中、々、疑、つ、た、お、し、物、外、に、河、波、鳴、戸、で、紅、涙、を、絞、り、ん、結、核、必、

この道路事件は、余り、中、に、人、が、はい、り、す、る、た、り、と、持、ち、ま、わ、つ、た、場、合、で、す、が、さ、ら、僕、は、裁判、も、な、か、ら、な、い、が、資、金、が、同、盟、だ、と、思、つ、た、の、で、す。資、金、の、さ、れ、た、方、が、負、け、に、な、ら、な、い、と、思、つ、た、の、で、す。皆、さん、の、決、ま、り、が、い、い、で、す、か、と、い、つ、た、人、で、す。